

2009年7月31日

第3回21世紀漢方フォーラム

「漢方の国際医療情報を考える」

# 特別発言

千葉大学大学院医学研究院

和漢診療学 教授

日本東洋医学サミット会議 議長

寺澤 捷年

# 日本東洋医学サミット会議

JLOM (The Japan Liaison of Oriental Medicine)

## フルメンバー

日本東洋医学会 会長 寺澤捷年

全日本鍼灸学会 会長 後藤修司

日本生薬学会 会長 海老塚豊

和漢医薬学会 会長 野村靖幸

北里大学 東洋医学総合研究所 所長 花輪壽彦

富山大学医学部 和漢診療学 教授 嶋田豊

アソシエート  
メンバー 医学中央雑誌刊行会 豊玉速人

アドバイザー 東京大学 津谷喜一郎

セクレタリー  
ジェネラル 昭和大学 薬学部 鳥居塚和生

# JLOMの見解

伝統医学の標準的  
診断・治療手技など  
をISOとして定める  
ことには反対である。

## 今後の課題（Ⅰ）

厚生労働省に伝統医学を担当する専門家の部局を設置頂き、省内および他省庁との連携、意見の集約を図り国益の保護に当たって頂きたいこと。

## 今後の課題(Ⅱ)

医学・薬学教育における伝統医学の位置づけを明確にし、医師国家試験、薬剤師国家試験への出題を実現すること。この前提として、国内標準の設定があるが、これにはJLOMも積極的に協力する。

## 今後の課題(Ⅲ)

漢方生薬の資源確保に  
関して、国内自給率を高め、  
安全かつ高品質の供給を  
保障すること。

この際、栽培技術などは  
国際特許の申請をするなど、  
積極的な対応が望まれる。

## 今後の課題(Ⅳ)

漢方エキス製剤の製法  
特許などを国際的な  
ものとし、国益の保護に  
勉めること。

# 中医薬大学日本校の実態

北京中医薬大学 日本校	中医中薬専攻科	50名	3年	通信教育、集中講座・特別講座(スクーリング)	※他コース有
	医学気功整体専科	20名	1年		
	中医薬膳専科	20名	1年		
天津中医薬大学 日本校	東洋医学総合コース	15名	4年	鍼灸・薬学3年、中国留学1年	※他コース有
	中薬専門コース	15名	4年	昼間3年、中国留学1年	
	鍼灸専門コース 昼間部	15~30名	3年		
黒龍江中医薬大学 日本校	学位取得コース		学士課程 5年	学士課程5年 修士課程3年 博士課程3年	※他コース有
	総合中医療術学科		本科 3年	本科3年 専科1年	
遼寧中医薬大学附属 日本中医薬学院	国際中医師コース		3年	通学(月3回)	※他コース有
上海中医薬大学附属 日本校	大学専科コース (前期課程)	中医学科	100人	2年	※他コース有
		骨傷学科	100人	2年	
		鍼灸学科	100人	2年	
		推拿学科	100人	2年	